

おすもへっ!!

明日も



漫画 - たふるでっく

こうたーっ
暗くなる前に
行っておいで〜

ええ〜っ
タイムチュードンの
再放送見たいのにー

そんなわけで
すっかり過疎化して
人手がいなくなった今でも

この村で唯一
僕の家だけはこの小さな
神社の手入れを続けている

といつても
手入れをしているのは
実質ぼく一人なので

僕にとっては
迷惑極まりない
話だった・・・
・・・この日までは



お供えこれで
いいの？

じゃあ
いってきまーす。



ありがとねー



なぜ僕がこんなことを
しているかといえは
この村に伝わる

古い言い伝えのせいだ

むかしむかし
僕の先祖があるタヌキを
助け、恩を感じたタヌキが

その後村を襲った災いから
僕の先祖達を救ったという
言い伝えだ。

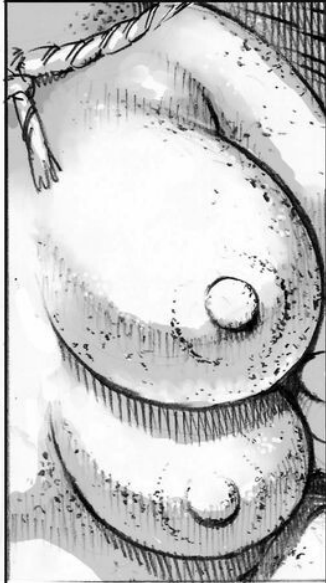




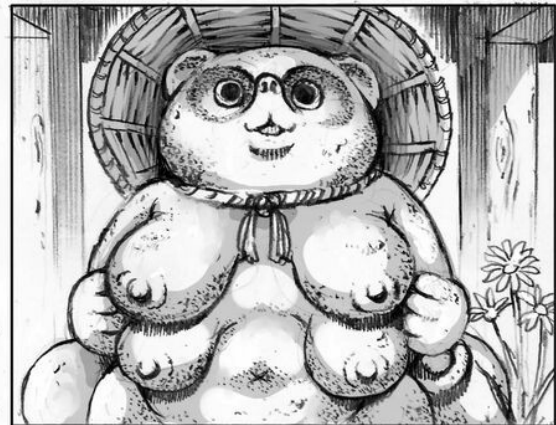
言い伝えはもちろん、
今でも化けたタヌキが
村を守っているという
祖母の話も
全然信じて無かったけれど



子供の頃から
こんなことを続けているせいか



ぼくは
特殊な性の目覚めかた
をしてしまった。



そして
家が厳しかった僕は



拾った五本を神社に隠し
そこで溜まった性欲を
発散する罰当たりな
やつだった...



おすもうっ!

明日も

漫画・だぶるでっく







はだかんぼで女のひとつ
おすもう取るんでしょ?

あの本にのつてた!
おとこのひとが
おちんちん
おつきくなるよ





だめだっ…

もうガマンできないっ…!



でもニンゲンてへんなの!...

こんなことするのが好きなんだ。



アッ…



アッ…



わっ!

がば



あ、これ本でおとこのひとがやっただ!

…これなんというの?



何だか変なきぶんになつてきちやうよお…

アッ…アッ…

アッ…アッ…
この…ニンゲンの
あすもうっ…











迷惑なだけの
日常に戻った...

僕はまた



オウリ。



同種族との交尾など
そつちのけで僕に挑んできた

彼女はすっかり
「おすもう」が気に入ってしまい



...その日の後も
何度と無く僕らは会った



...そして秋が来て

彼女は姿を消した。



僕も短い夏の間、
ただひたすら
彼女との「おすもう」を
堪能した。

